

東日本大震災追悼法要厳修

三月十一日

東日本大震災発生から本年で八年を迎えた三月十一日、高尾山上において大震災による物故者の御冥福をお祈りするため、「東日本大震災追悼法要」が営まれました。

当日は大本堂慈照観音前及び、有喜苑に建立された東日本大震災物故者供養塔に於いて、僧侶と共に参列の皆が被災者の鎮魂と、被災地の更なる復興促進を祈る一時となりました。



大本堂における東日本大震災追悼法要

六波羅蜜修行塔開眼法要厳修

三月二十五日



三月二十五日、高尾山有喜苑において、薬王院総代の小阪弘様(写真右端)から御奉納頂きました、六波羅蜜修行塔開眼法要が菅谷執事長御導師のもと厳修されました。

六波羅蜜とは修行者が行うべき六つの修行徳目であり、「布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧」を意味します。

この修行塔では、心穏やかな生活を送れるように六波羅蜜を意識し、中央の石車を回して下さい。

第十箇度 相州大山登拝修行のご案内

本年も当山恒例の相州大山登拝修行と左記の通り執行致します。

皆様お誘い合わせの上、一人でも多くのご参加を、心よりお待ちしております。

日 時 平成三十一年 五月二十五日(土)※日帰り
午前七時 高尾山麓不動院集合

参加費 二万七千円(往復バス代、保険代、当日昼食代、その他諸費用含む)

行 程 高尾山麓不動院発→大山阿夫利神社下社→大山山中登拝修行→奥宮参拝→大山阿夫利神社下社(正式参拝)→高尾山麓不動院着

申込方法 住所・氏名・生年月日・年令をご本人様連絡先へ
緊急連絡先(ご本人様以外)を明記の上
〒一九三-八六八六 八王子市高尾町二七七
「大山山高尾山薬王院相州大山登拝事務局」宛に
ハガキでお申込下さい。

申込締切 五月二十日(月)

※参加申込ハガキが届き次第、請書、行程表、同意書その他、詳細をお送り致します。

お問合せ：大山山高尾山薬王院登拝事務局
TEL〇四二-六六一-二二五(代)

一步一步煩惱減除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

七十五段 言うだけでなく自分から動く

他人に対しては立派なことを言うが、自分では何もしていないという人がいます。あまり親しくない人たちと協力して何かをしようとする時には、自分から音頭を取って始めてみるよう心がけると、信用されて人はついてくるものです。

『高尾山健康登山の証』のお勧め
年間約二百八十万人の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、今では約五万人の方々が会員となられております。期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみ下さい。

また、一冊に付き二十一回スタンプを押すページがあり、終了したことを満行と言います。満行されますとお祝い膳として精進料理の御接待や、健康登山者限定の記念品などと交換もできます。

帳面……………七百円
スタンプ……………百円



高尾山 季節散歩

暦の言葉

鴻雁北

「こうがんかえる」
四月十日〜四月十四日頃

日本で冬を越した雁が、北方のシベリア等へと移動する時期のことを意味します。

この時期の曇り空は鳥曇りと呼ばれ、飛び立つ羽音は鳥風とも呼ばれており、古くから詩歌や絵画の題材とされてきました。

今月の風物詩

ミツバチ

春になると、ミツバチは咲いた花に頭を突っ込んで蜜を集める。その過程で頭についた花粉を花々に媒介することで、植物の受粉を促進している。

日本ではニホンミツバチ、セイヨウミツバチの二種が生息しており、養蜂家によって蜜が採取されている。

院内散歩 26

～薬王院の展示物～



木版画『雪庭』
作・井堂雅夫

健康登山者投稿作品

お山のパワー

八王子市 S・E

高尾山の健康登山を重ねていく途中、ふとしたことから入院することになり、お山の近くにある大学病院に入りました。

病棟からは高尾山が近くに見える、夜にはケーブルカーの明り、春には山桜、夏の前には新緑と、その景色に和ませていただきました。

入院中には、また元氣になつて健康登山を再開することを目標にリハビリを重ね、毎日病室から薬王院さんに向けて手を合わせていました。

その後、無事退院して元氣復活、念願の健康登山をまた始めることができました。お山にパワーをもらつて健康の有難さを実感しており、これからも健康登山を励みに頑張りたいと思います。